

## 第9回 計画評価及び検証小委員会議事録

日時 2026年2月17日(火) 18:00~19:40

場所 Web会議

出席者:

<委員>

田中 誠	委員長	(政策研究大学院大学 教授)
河辺 賢一	委員	(東京科学大学 工学院 電気電子系 准教授)
草薙 真一	委員	(兵庫県立大学 国際商経学部 教授)
造賀 芳文	委員	(広島大学大学院 先進理工系科学研究科 教授)
東條 吉純	委員	(立教大学 法学部 教授)
原 亮一	委員	(北海道大学 大学院情報科学研究院 准教授)
北條 昌秀	委員	(徳島大学 大学院社会産業理工学研究部 教授)

<オブザーバー>

甲斐 正彦	(東海旅客鉄道株式会社 建設工事事務部 担当部長)
黒田 嘉彰	(電力・ガス取引監視等委員会 ネットワーク事業監視課長)
添田 隆秀	(資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 電力基盤整備課長)
園田 光寛	(一般社団法人送配電網協議会 電力技術部長)

### 【関連事業者 (議題2)】

花本 耕之助	(東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部 (系統計画) 課長)
坂本 将造	(東北電力ネットワーク株式会社 電力システム部 (系統計画) 副長)
内海 貴徳	(北海道電力ネットワーク株式会社 工務部 系統計画グループグループリーダー)
阪本 利輝	(北海道電力ネットワーク株式会社 工務部 直流連系システムグループ グループリーダー)
緒方 康寛	(東京電力パワーグリッド株式会社 技術統括室課長)
神永 真	(東京電力パワーグリッド株式会社 工務部課長)
木村 武生	(電源開発送変電ネットワーク株式会社 設備計画部 部長代理)
中嶋 晃	(電源開発送変電ネットワーク株式会社 設備計画部 プロジェクト計画グループ グループリーダー)

## 配布資料

- 資料 1 広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドラインについて
- 資料 1 別紙 広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドライン（素案）
- 資料 2-1 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る広域系統整備計画に関する予備評価の概要について
- 資料 2-2 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る多端子構成の提案に対する評価について
- 資料 2-3 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る対策工事概要・系統構成等について～多端子構成の採用～

## 議題 1. 広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドラインについて

- ・事務局から資料 1 により説明した。
- ・主な議論は以下のとおり。

### [主な議論]

- ( 草 薙 委 員 ) ご説明自体に異論はないが、今回のご説明を受けて、資料 1 別紙すなわちガイドライン（素案）で 1 点気になるところがあるため、質問する。23 ページ、図 4 予備費執行フローの※印に「フロー中の文字は変更の可能性」とあるが、このフロー中の文字とはどの文字が該当するのか。また、変更するとしても、どのように変更するのが分かりにくい。修文等がなされてから全て確定されるのか、あるいは※印の表現がどのように変わり得るのかを知りたい。個別に検討する場面も多く出てくると思うため、質問させていただきたい。
- ( 造 賀 委 員 ) 内容自体に異論はないが、1 つ教えていただきたい。基本的には設備の維持・運用に要する費用の計画値の計上方法について、きちんと算定根拠などは説明し、合理的に計上せよとある。ただ、過去実績がない場合には 0 円で計上と書かれているが、0 円で計上のイメージが湧かない。これはフリーハンドでとりあえず名前だけ上げて、後に実績で検討するという意味のもので、何か問題になることはないかが気になった。
- ( 事 務 局 ) 草薙委員からいただいたご意見について、別紙 1 のフローは工事費に関する内容である。基本的には、審議は終わっており、おおよそ変更の可能性はないと考えている。※印については、最終的には外したいと考えている。  
造賀委員からいただいたご意見の 0 円で計上する点については、可能な限りこのような項目はなくし、基本的には過去実績等をもとに積み上げて計上していただきたいと考えているが、やむを得ず難しい場合には何か対応ができるようにこの項目をつけている。こうした項目を計上した場合においても、実績はしっかり確認し、その実績に基づき、翌規制期間で回収する。フリーハンドで何でも認められるということを意味しているわけではない。
- ( 造 賀 委 員 ) つまり、我々は何故 0 円で計上しているかについて、話を聞くものと理解したらよ

いか。

(事務局) おっしゃるとおり。あまりにも根拠がなく、とりあえず積むよりも、一旦ゼロ円の形でと考えており、何故0円にしたのかについて説明を受けた上で、それが妥当かどうか判断いただきたい。

(田中委員長) 広域系統整備計画のコスト検証等に関するガイドラインについては、特段の異論はなかったため、事務局においてはこの方向で進めていくことでよろしく願います。

## 議題2. 北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る広域系統整備計画に関する予備評価の実施について

※機微情報が含まれることから委員、オブザーバー及び関連事業者に限定し非公開で議論。

議事については、議事要旨として公表。

- ・事務局から資料2-1・2-2、有資格事業者から代表で東北NWより資料2-3の説明があった。

[主な意見、質疑等]

- ・事務局及び東北NWから説明のあった内容について質疑があった。

北海道本州間連系設備（日本海ルート）に係る広域系統整備計画に関する技術検討報告書に対して、引き続き評価を行うこととした。